



エム・エムブリッジ株式会社 様



社内向けの情報発信として、サイネージで情報共有

社内コミュニケーションの活性化！

エム・エムブリッジ株式会社(以下、同社)は、三菱重工工事株式会社を承継会社とし、三菱重工株式会社の橋梁部門を統合し、2006年4月1日に設立。橋梁事業をはじめとする鋼構造製品の総合エンジニアリング会社です。

POINT

- ◆デジタルサイネージを活用した社内情報の共有
- ◆社内コミュニケーションの活性化
- ◆社員の士気の向上

今回は、クラウド型コンテンツ配信サービス『PICLES（ピクルス）』をお使いいただきサイネージで情報共有を行い、社内コミュニケーションが活性化されたお話を伺いました。

導入の背景

—PICLESの導入前はどのような形で社内向けの情報を共有していましたか

以前は、社内向けのお知らせは、メール配信や社内用のポータルサイト（Notes）の全社掲示板を使って発信していました。しかし、全社掲示板では、社員が自発的にポータルサイトにアクセスしないと情報の共有ができませんでした。また、メールの場合は、未開封のままでメールが埋もれてしまい、情報の共有ができないことが多かったです。このように、社員に情報の共有ができない課題がありました。その解決策として、情報発信モニター（サイネージ）を導入することとしました。サイネージでは、表示されるコンテンツが目にとり易くなるため、情報がスムーズに入り、情報の共有化ができると考えたからです。

しかしながら、購入当初は、作成したコンテンツをその都度USBでサイネージに読み込ませ情報を表示させるため、担当者の作業負荷が高くコンテンツのタイムリーな更新ができませんでした。例えば、USBでは、動画は1つしか画面に表示させることしかできず、他の情報と同時に発信ができません。タイムリーな情報発信のためのレイアウトの変更もかなり手間がかかっていました。

—PICLESを導入したきっかけを教えてください

USBでの運用は、担当者の作業負荷が大きいため、作業軽減のため、手軽にコンテンツの管理ができるツールの検討をし

ました。ツールの選定では、ビーティスの他に2社ほど検討しました。その1つは、サイネージに付随しているソフトの利用でしたが、初期導入費用がサイネージの導入費用と同じくらい発生し、保守費用も高く、費用面で予算を大幅に超過するため、導入には至りませんでした。

そんな中、ビーティスの『PICLES』（情報発信のためコンテンツ編集ソフト+出力表示機器 STB のセット）をご紹介いただき、試使用をさせていただき、その便利さを実感できたことから、導入を致しました。

『PICLES』は、ウィジェットや PowerPoint、動画がタイムリーに編集表示できます。コンテンツのレイアウト作成は非常に簡単です。動画は、他のコンテンツと一緒に再生することができるため、1画面で複数の情報を同時に発信できます。PICLESで作成したレイアウト表示は、STBをとおして出力するモニターの縦横比に合わせて変更ができ、操作性に優れています。

また、作成した複数のレイアウトの再生スケジュールの設定が可能で、時間ごとにレイアウトを自動で変更できる機能は、非常に便利です。朝のストレッチ体操のコンテンツは、決まった時間にスケジュールを設定し、毎朝表示させ、社内ですストレッチを行っています。

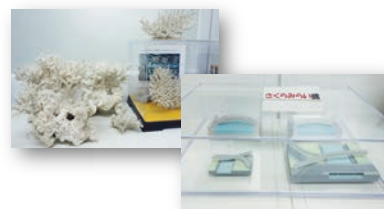
そして、もう一つ便利な点は、ウェブ上で、管理者登録をしたメンバーで自由にコンテンツが変更できる点です。例えば、出張先などでネット環境が整っていれば、出張先から現場のタイムリーな状況も発信できます。

Corporate Data



名称：エム・エムブリッジ株式会社
事業内容：橋梁、沿岸構造物等
URL：<https://www.mm-bridge.com/>

生産・技術部 木原 一禎 氏
総務部 二間 美也子 氏



PICLES の運用体制について

—コンテンツの作成や配信・管理など運用体制はどのような形でを行っていますか

現在管理者は、広島本社総務部 2 名と東京の東日本支社 2 名の計 4 名で運用を行っています。メインは、総務部の管理になります。表示させるコンテンツは、各支店長に全社共通のフォルダに掲示したい情報やコンテンツをアップしてもらい、そこから掲載情報を選定して、総務部担当者が PICLES に設定していきます。コンテンツは、PowerPoint などで作成しています。また、工事現場の状況を撮影したドローン映像を動画で表示することもあります。

—どのような情報を表示していますか？具体的に教えてください

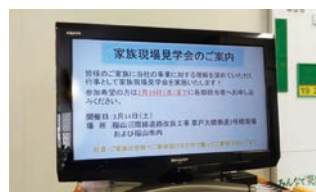
- ・ストレッチ体操(毎朝表示)
- ・建設現場の進捗状況の動画
- ・サンゴ増殖技術開発の情報
- ・天気(ウィジェット機能を利用)
- ・ニュース(ウィジェット機能の Custom RSS を利用)
- ・社内イベントのお知らせ(忘年会のお知らせ、家族現場見学会の案内など)
- ・社内トピック(論文発表会、表彰など)
- ・ノー残業デーの呼びかけ
- ・Instagram「#橋の魅力」をピックアップして表示(ウィジェット機能の Instagram 利用)

今後検討しているコンテンツ

- ・新入社員の紹介(写真と名前を表示し、インタビューは QR コードから閲覧)
- ・三菱重工系列の野球部の試合日程など体文情報のお知らせ
- ・ラジオ体操

来期から本格的に社内運用に入っていくためコンテンツを社内募集しています。

<実際の表示>



【広島本社】 出入口付近にモニタ設置



【東日本支社】 出入口付近にサイネージ設置



毎朝のストレッチ体操の表示



現場進捗状況と天気、ニュースを表示

—PICLES の運用はいかがですか？

PICLES の操作方法は、非常に簡単であるため、運用において以前のような負荷を感じることは無くなりました。毎日更新しているお知らせもありますが、出張先でも WEB 上の PICLES にログインできるため社内になくても更新できるのがとても便利で

す。現在は、30 分から 1 時間ごとにスケジュールを組んで表示させています。朝のストレッチ体操のような定例のもの以外は、コンテンツ内容を 1 週間に 1 回は変更するようにしています。同じ内容ばかりだと社員も飽きてしまうので...

毎日 8:30 ~ 17:30 の就業時間に自動で ON OFF の設定をして表示させています。



PC から簡単にマウス操作1つで管理が行えます

導入効果

—PICLES 導入後の変化について教えてください

社員向けのお知らせなどをモニターに表示させることで、情報が自然に視界に入り、モニターの前で立ち止まってお知らせを見る社員が増えました。PICLES の導入により、社内での情報の共有が以前より随分向上したと思います。

また、社内向けのお知らせの他に、現在の建設現場の進捗状況などを動画で表示させています。総務部などデスクワークが多い部門では、実際の工事現場を目にする機会がないため、自社のことなのに現場の状況や新製品の開発状況など重要な情報が把握できない部分がありました。しかし、こうしたコンテンツを見ることで、現場状況が把握でき、会社のことがよくわかるようになりました。特に、サンゴの GMC 技術(増殖研究)については、PICLES のレイアウトを表示させることで、研究開発の内容や状況を社員に周知させることができました。PICLES の導入により、自分が従事していない他の部門の業務内容が理解できるようになりました。モニターの前で立ち止まって情報を見る機会が増えたことで、他の部門の社員など普段なかなか会話をすることがなかった社員同士の会話も増えてきました。

—今後の課題等ありましたら、教えてください。

表示させるコンテンツは、随時更新が必要ですが、それにはネタが必要になります。現在も社内ポータルサイトを利用してネタを募集しています。総務部で表示コンテンツは管理していますが、部内だけでコンテンツ案をだしていくのには限界があります。そのため社員 1 人ひとりが意識して、共有したい情報を積極的に提供してくれるような体制にしていきたいです。コンテンツ内容は、業務にかかわることだけではなく、息抜きのようなコンテンツ、例えば会社近くのお店の情報などを提供してもらい、社員同士のコミュニケーションがさらに深まると良いと考えています。

また、毎年行われる三菱重工の野球の試合に社員が出場しているため、試合の日程や結果、応援風景などを表示させ、会社全体で応援が盛り上がることを期待しています。

現在は、社内向けの情報のみを発信していますが、将来的には受付などにもモニターを設置し、社外向けの情報発信も検討しています。社内・社外と幅広く活用していきたいと思っています。